



無線LANは学生や職員の端末だけが利用できるようにしたい
学内・校内に持ち込まれる端末の識別と制御を行いたい



GIGAスクール構想：「1人1台端末」の実現に必要なセキュ
リティ確保に証明書配付ワークフローを実現



留学生や学外の関係者向けに無線LAN接続環境を利用させる
仕組みを構築したい。(eduroam利用含む)

無線LANに接続するユーザーや、端末は正しく制御されていますか？
パスワードの使い回しはされていませんか？

不正接続・利用を防止する『認証』は無線LANに必須です!!



『認証』がない環境

- NG1 共通パスワード環境
- NG2 不適切なID管理
- NG3 持ち込み端末による接続

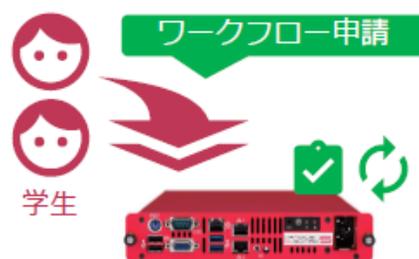
不正接続の
可能性
大

- 情報漏洩
 - 不正利用
 - ウイルス感染
- などのリスクが
高い

RADIUS GUARD S が解決します!



CASE1 某私立大学

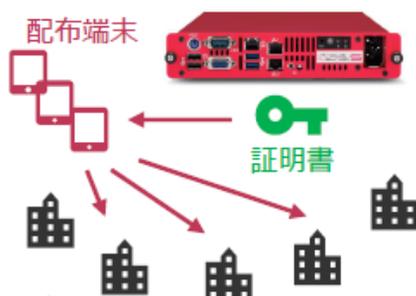


学生

GOOD!!

学生は無線の利用アカウント(ID/端末)をワークフローにより自分で申請!未使用アカウントの削除も自動化で管理者の負担は大幅に軽減!!

CASE2 某教育委員会



GOOD!!

各学校に配布する教育用デバイスに証明書をインポートするキittingワークフローとTLS認証によるセキュアな無線接続を実現!!

CASE3 某中高一貫校



GOOD!!

学内の無線LAN化とデバイス導入に合わせて、証明書配付だけでなく教職員と生徒の端末をセキュリティレベルの異なる認証方式をまとめて実現!

無線/有線
認証



証明書発行



VPN接続



無線LANの構築と同時に認証基盤を導入し、不正利用対策を含めたセキュアな無線LAN環境をトータルに提供します!

GIGAスクール構想に対応：無線LAN＋認証基盤ソリューション

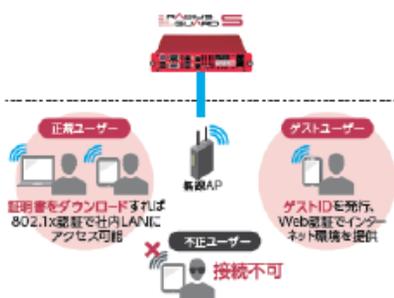
配布デバイスへの証明書配付環境の実現や、無線LAN環境のセキュリティ確保、運用負担の軽減を実現します

認証基盤があると。。。

スマートデバイスと無線LAN環境の導入に

Point

- ▶許可されたPCやスマートデバイスだけを接続
- ▶端末やユーザーの識別を行いアクセス制御
- ▶オリジナルワークフローによる容易な申請と管理



RADIUS GUARD Sの4大機能



認証サーバー

無線LANに接続されるユーザーや端末毎に“認証”を行い接続の可否を判断します。環境にあわせてさまざまな認証方式に対応し、不正接続を防止するセキュアな無線LAN環境の構築が可能となります。



DHCPサーバー

無線LAN環境にDHCPサービスはかかせません。最大10,000IPアドレスの自動割り当てを行います。認証サーバーと合わせて導入することで費用を抑えることが可能です。



証明書発行

クライアント証明書による認証に必須のCA機能も実装。プライベートCAを簡単に構築することができます。証明書運用に必要なさまざまな機能を提供し、導入後の運用負担を軽減することができます。



ワークフロー

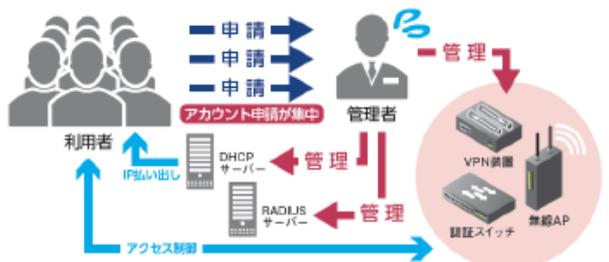
無線LANの利用申請や、証明書発行申請・配布などが可能となるWebワークフローを標準機能として提供。紙ベースの申請フローによる負担をなくします。既存ADサーバーのアカウントを利用した申請で自動化にも対応。

効果的な導入ケース

RADIUS GUARD Sの導入で、管理者負担の大幅軽減

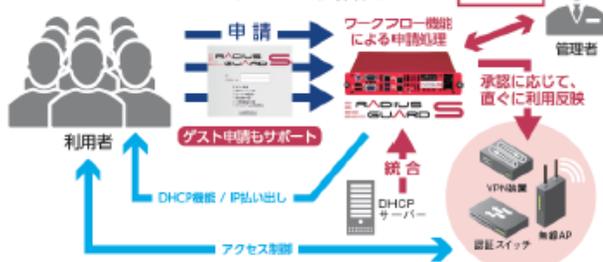
Before

- ▶管理者が手作業でアカウントを設定。
- ▶期初や期末は、膨大な作業量。
- ▶アカウントのステータス管理も大変!



After

- ▶ワークフロー機能でアカウント処理、申請も含めて自動化!
- ▶アカウントの棚卸しも楽々!
- ▶DHCPも統合管理!



RADIUS GUARD S 価格

本体 & ライセンス

基本200ライセンスモデル・80万円(税抜)～ ※ライセンス=内部DB登録アカウント数
DHCPサーバー専用ライセンス(50, 000IP抽出)モデル・110万円(税抜)～
※上記金額に、初年度ハードウェア保守費用が必要です
RADIUS GUARD S V7 仮想アプライアンス版 基本200ライセンスモデル・60万円(税抜)～



省スペース冗長も可能(1U/2台構成)



・VA版
(VMware/NutanixAHV)

・クラウドサービス版

AWS
Microsoft
Azure

※ハードウェア保守のご契約は原則的に最大5年間です。

・ハードウェアアプライアンス版
・VA版 (VMware/NutanixAHV)
・AWS、Azure対応版
ご提案環境にあわせて導入可能。
検証用機器、ライセンスの貸出対応中

お問合せ先

SCSK株式会社

ネットワークセキュリティ事業本部
セキュリティプロダクト第二部

TEL : 03-5859-3037

E-Mail : rg-info@scsk.jp

<https://www.scsk.jp/sp/radius/>

